

■今泉嘉一郎 官僚・実業家・製鉄技術者。八幡製鉄の創業を担い、日本鋼管を創立するなど、“近代産業の父”。

いまいずみかいちろう

大政奉還・・・1867＝ 群馬県勢多郡東村花輪で長男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

明治6年政変 1873＝ 6歳： 祥禅寺を校舎とし町田要快を校長に創立された花輪小学校に入学。

三つの内乱・1876＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝14歳： 花輪小学校を卒業し前橋中学校に入学。

新体詩抄・・・1882＝15歳： 父が死去したため中退。女医をしていた母の影響で、医者をめざして、上京。恩師町田要快を訪ね、柳蔭家塾・独逸協会学校に入学。

秩父事件・・・1884＝17歳： 大学予備門に入学。

内閣発足・・・1885＝18歳：

やがて個人の病気よりも、国の病を治したいと工科志望に転じ、

帝国憲法発布 1889＝22歳： 東京帝国大学工科大学に入学。

大津事件・・・1891＝24歳： 母が死去。

大本教・・・1892＝25歳： 卒業すると、榎本の姻戚で順天堂の佐藤進の次女幸子と結婚。農商務技師試験を命ぜられる。

日清戦争始・1894＝27歳： 農商務大臣となった榎本武揚の命を受け、製鉄の学理および実地習練のため、フライバルク・ベルリンの両鉱山大学に留学し、ドイツヘルデ製鉄所で実習。

日清戦争終・1895＝28歳： 欧州滞在中、八幡製鉄所創立に要する調査を命ぜられる。

白馬会・・・1896＝29歳： 町田要快が死去。*榎本が官営製鉄所官制を公布して、製鉄所技師に就任後、帰国。工務部長代理として、

八幡製鉄始・1897＝30歳： 八幡製鉄所の建設に着手。

田中正造直訴 1901＝34歳： *八幡製鉄所の操業開始とともに、製鋼部長となる。

日比谷公園・1903＝36歳：

日露戦争終・1905＝38歳：

満鉄発足・・・1906＝39歳： 勲三等旭日中綬章。

大逆事件判決 1911＝44歳： 大学時代の旧友白石元次郎が来訪、懸案解決に確信を持つと、14年間育ててきた八幡製鉄所を退職し、

明治天皇没・1912＝45歳： *日本鋼管株式会社を創立、みずから技師長となる。

21ヶ条要求・1915＝48歳： この年、野呂景義を会長に日本鉄鋼協会が創設される。_工学博士。

民本主義・・・1916＝49歳： 第一次大戦による欧州の衰退で、ブームが本格化、

ロシア革命・1917＝50歳： 花輪小学校改築資金として1万円を寄附。

本格政党内閣 1918＝51歳： 小黒川水力発電所の建設を援助する。_巨額の利益を挙げる。

ベル仁条約・1919＝52歳： 妻幸子が死去。マリと再婚。_度量衡及工業品規格統一調査会委員となり活躍。

大暴落・・・1920＝53歳： *ブームが終わって経営難に陥り、国政へと転身すべく、衆議院議員立候補して当選。

原敬首相暗殺 1921＝54歳： 鉄鋼生産保護政策を訴え、関税定率法を実現。

水平社結成・1922＝55歳： 第十九回国際衆議院総会日本衆議院団長として出張。

護憲三派圧勝 1924＝57歳： _日刊工業新聞社長に就任。

海軍軍縮条約 1930＝63歳： 工学博士今泉嘉一郎全集として「鉄屑集」が刊行される。

満州事変・・・1931＝64歳： 花輪小学校が落成。

帝人疑獄事件 1934＝67歳： _ルクセンブルグ大公国よりコンマーダー・クローンス・ド・シェーン勲章授与。

二二六事件・1936＝69歳： 寿像除幕式(花輪小校庭)。

日中戦争始・1937＝70歳：

第二次大戦始 1939＝72歳：

日米開戦・・・1941＝74歳： 腎盂炎で、_没した。